

ASAHIPEN

ベンゾピレン等

発ガン性物質を含まない安全タイプ

1L

標準塗り面積
(2回塗り)

3.0~4.0㎡
タタミ1.7~2.4枚分

乾燥時間

夏期/2~3時間
冬期/4~6時間

塗り重ね時間の目安

夏期/3時間以上
冬期/6時間以上

ASAHIPEN
ペイント
うすめ液

塗装用具は
ペイント
うすめ液
で洗って下さい

うすめ液にそのまま塗って下さい。

無鉛
鉛・クロム化合物は
使用していません。

用途

クイ・板塀・溝板・
土台・根太・根太
受・床束・大引な
ど屋外や床下の
未塗装木部



注意書きをよく読んでから使用して下さい。

ブラウン

この色見本は、実際に塗った色及び
ツヤとは多少異なります。



4 970925 530905

用途

- クイ、板塀、溝板等の屋外未塗装木部の防腐・防虫
- 土台、根太、根太受、床束、大引等の床下未塗装木部の防腐・防虫
(旧塗膜が残っている場合には、塗膜を取り除く必要があります)

塗装方法

- ①すでにある古い塗膜は、皮スキ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●塗る面のゴミ・カビ・汚れを取り、ワックスや油分はペイントうすめ液でよく拭き取り、充分に乾かします。
●ヤニの多い箇所はあらかじめラッカーうすめ液で充分にヤニを拭き取っておきます。
- ②本品がついては困る場所は、あらかじめマスキングテープ等でおおいます。
- ③フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーを差し込んで開け、棒などで中身を底から充分にかき混ぜて均一にします。(フタを開ける前に、容器を逆さにして充分振り動かせば、よく混ぜられます)使用中もときどきかき混ぜます。
●攪拌が不十分な状態で塗装すると、本来の防虫・防腐・防カビ効果が得られず、場合によってはカビが生えやすくなります。
- ④ニス用ハケを用いて木目に沿ってたっぷりと吸い込ませるように塗ります。広い平面の場合はコデハケを使用すると早くきれいに塗ることができます。
●夏期2時間以上、冬期3時間以上乾燥させてから、さらに塗り重ねます。
- ⑤マスキングテープは、本品が手につかなくなったらがします。

用具の手入れ方法 ペイントうすめ液か、ハケ洗い液で洗います。

保管上の注意

- ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食いたすをしないように注意して下さい。
- ②直射日光や火気のある場所、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- ③残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。

●この容器は大きめにつけてあります。中身は正確な量目入っています。

株式会社 アサヒペン

大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室
☎06-6934-0300

火気厳禁
第2石油類/危険等級Ⅲ
木材用防腐処理剤(S-034)

商品名 木材防虫防腐ソート

品名 木材用防腐処理剤

成分 油脂、有機溶剤、顔料、
防腐剤、防虫剤、防カビ剤

特長

- 日光や雨に強い屋外木部専用処理剤
- 浸透性に優れ長期間木材を保護
- 安全性の高い薬剤を使用
- クレオソート油に比べ安全・低臭

取扱い上の注意 ①本品は他の塗料がすでに塗装されている面には適しません。充分に塗膜を取り除いてから塗装して下さい。(ただし、本品の塗りかえの場合は重ね塗りできます)②表示の用途以外には使用しないで下さい。③屋外のテーブルや椅子など皮膚が直接接するような木部や犬小屋、鳥かごその他ペットなどがなめたり、かじったりするような木部には使用しないで下さい。④食品や食器が置かれるところには使用しないで下さい。⑤プリント合板・化粧合板などには適しません。⑥火気のあるところでは塗らないで下さい。⑦天気の良い日に風通しをよくして塗って下さい。⑧有機溶剤が含まれており、長時間そのにおいをかくと、頭痛・めまい・吐き気などを起こすことがありますので、塗装中及び乾燥後もにおいなくなるまで換気をよくして下さい。⑨溶剤蒸気を吸入しないよう、目に入らぬよう、また誤飲しないように保護メガネ、保護マスクを着用して下さい。⑩皮膚につくとかぶれることがあり、また衣服につくときれいに洗い落とすことができませんので、取扱い時には必ず保護手袋、作業着を着用し、皮膚に触れないようにして下さい。⑪病人・妊婦・乳幼児・薬剤や有機溶剤によってアレルギー症状やかぶれ等をおこしやすい方、化学物質に敏感な方のある場所では取扱わないで下さい。⑫吹き付け塗装は絶対にしないで下さい。⑬本品が草木などの植物にかけられないよう、また、金魚や鯉などの魚類がいる池に入らないように注意して下さい。⑭本品が木材以外にかかった場合は中性洗剤で洗った後、充分に水洗いして下さい。⑮マスキングテープの端から本品がにじむことがあります。⑯下地の色や吸い込みの度合によって仕上りの状態や色、乾燥性が大きく左右されますので、あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・浸透性・下地への影響などを確かめてから塗装して下さい。⑰ヤニのある箇所は乾燥がかなり遅くなったり、場合によっては乾かないことがあります。⑱塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件により多少異なります。⑲乾燥後も衣服や洗濯物がすれたりすると汚れることがありますので、乾いた布でよく拭いてから使用して下さい。⑳床下に使用した場合、乾燥後もしばらくの間、油脂のにおいが残りますので換気をよくして下さい。㉑塗料を上塗りする場合は、夏期1日以上冬期は2日以上経ってから用途に適した油性塗料を上塗りして下さい。㉒取扱い後は必ず手洗い、うがいを充分に行ってください。㉓本品が付着した作業着はそのましまわす、洗濯してからして下さい。㉔塗料を拭き取った布をまるめたまま放置すると自然発火のおそれがありますので、捨てるまでは水につけておき、そのまま廃棄して下さい。㉕容器は中身を使い切ってから捨てして下さい。㉖やむを得ず中身を捨てるときは、水性・油性兼用凝固剤で固化するか、火気のない屋外で、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。㉗塗料を移し替える場合は金属等の溶けにくい容器をご使用下さい。㉘容器を落下させると中身が漏れることがありますので、取扱いに注意して下さい。

危険



- 引火性あり ●皮膚刺激 ●アレルギー性皮膚反応のおそれ ●遺伝性疾患のおそれ
- 臓器の障害 ●呼吸器への刺激のおそれ ●眠気やめまいのおそれ
- 水生生物に非常に強い毒性

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。